



新潟市立高志中等教育学校

志の涵養を中核に据えた6年間の一貫した教育により
社会に変革を起こせる生徒を育成する学校

夢を見つけ

夢をかほせる



なぜ学ぶのか

新潟市立高志中等教育学校
学校長 灰野 仁



「何故、勉強しなければならないのですか？」…教師になって30数年。いつの時代も生徒から投げかけられるこの問いにどう答えればよいか悩み続けてきました。この言葉の裏側に「面倒だ、できることならしたくない」といった後ろ向きの感情が見え隠れすることが多かったからです。

先日、次のようなニュースに目が留まりました。ある学校で生徒に課した宿題を後日提出させたところ、複数の生徒の解答がほとんど同じ記載内容であり、事実とは異なる誤った答えであったそうです。学校が調査すると、その解答を提出した生徒が、生成AIを使っていたことが判明したとのこと。「自らの頭で考えないのであれば、そのような宿題を出すことに意味はない」として、それ以降課題の在り方が見直されることになったそうです。これは中・高生に限った話ではなく、このような安直な行為に流される大学生も増えてきているという話を耳にすると、なんとも情けなく、先行きが心配になります。当たり前ですが、生成AIが出した解答をただコピーする行為は学びでも何でもありません。これだけデジタル化・情報化が進み、生成AIの精度も今後ますます高まって行くにつれ、自分の頭で考えることが更に重要度を増していくのではないのでしょうか。老婆心ながら、自らの頭で「考えられる人」と「考えられない人」の二極化が進むのではないかと心配しています。

暗記を中心として知識量をどれだけ増やせるかといった学びは既に過去のものとなり、自ら課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析し、他者との意見交換や協働を通して、その課題に対する最適解を導き出す探究的な学びが求められるようになりました。

禅問答のような言い方になるかもしれませんが、冒頭の問いに対する答えとして私が一番じっくりくるのは、「その答えを見つけ出すため」です。だから、ここまでやれば終わりが来るということはないと思います。

高志中等教育学校では、自らが問いを立てることを大切にし、自分の頭でしっかりと考える姿を求めています。時に簡単に答えを得たいと思う気持ちをグッとこらえ、地道に、しかし確実に自らの学びを積み重ねていくことを大切にする学校です。将来、考えたくても考えられない頭にならぬよう、己に厳しく、そして自分の夢に向かって着実な歩みを進めて行きたいという意欲にあふれる皆さんから、本校への進学を望んでもらいたいと強く願っています。6年間の学校生活を通して、学ぶことの意味・意義を自分で見出したいという願いを胸に抱いた多くの受験生をお待ちしています。

志の涵養

知性と人間性にあふれる高い志をもった次代のリーダーとなる生徒を、6年間という時間をかけ一貫した教育によりていねいに育てる。

自律と互敬

- 自律** 自分で考え、自分の意志で行動すること。
- 互敬** 互いのよさや持ち味を認め合い、尊重し合うこと。



GRADUATION このような生徒を育てます

- 高い知性と豊かな人間性をもち、よりよい社会、世界の実現のために歩み続ける生徒
- 自らの可能性を信じ、明確な目的意識をもって、様々な人々と協働しながら、困難を乗り越えるたくましさをもつ生徒



CURRICULUM このような教育を行います

- 社会や地域とのかかわりを取り入れた探究的な学びを充実させます。
- 仲間と協働しながら問題解決にあたる体験的活動を発達段階に応じて行います。
- 各教科・領域において、ルーブリックを活用し、生徒の学びの履歴として蓄積できるようにします。
- 生徒の自治的・主体的な活動を推進し、よりよい学校生活の実現を目指します。



ADMISSION このような生徒を求めています

- 読解力や情報処理のための計算力等の基礎学力、発想力、論理的思考力、コミュニケーション能力の素地がある生徒
- 高い志、目的意識を持ち、新たな仲間と共に学び続け、ひたむきに自己の伸長を目指す生徒
- 広く社会に目を向け、解決すべき課題に正対し、よりよい社会づくりのために貢献していこうという意欲に溢れる生徒

夢をかなえるために

未来を切り開く次代のリーダーとなるために

学びの土台作り

自ら学ぶ力の育成

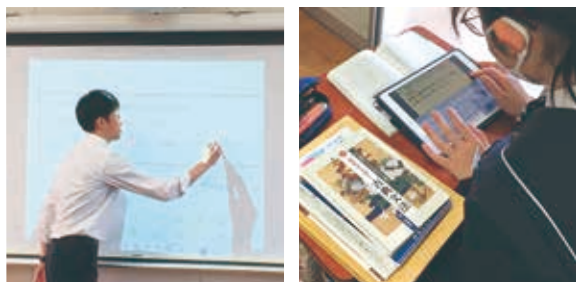
学びの土台となる、基礎学力の確かな定着を目指し、個に応じた学習支援を丁寧に行っています。

この積み重ねにより、高志中等生は自分に必要な学習を自分で考え、自分で計画しながら学ぶ力(自己調整学習力)を身に付けていきます。

ICT機器の活用

全クラスに設置された電子黒板を使い、クラス全体で学習課題を確認したり、個々の学びを共有したりしています。

また、タブレット端末を活用しながら個別に学習を進めたり、個々の学びを持ち寄って課題を解決したりする学習を行っています。



充実した自学環境

「1人で集中して学習したい」そんな声に応えるべく本校では、冷暖房完備の自習室があります。

また、多種多様な資料を活用しながら友達と学び合えるブラウジングルームがあります。

これらは、土日・祝日も使用することができます。



きめ細やかな進路指導

自分らしく生きるためにどのような進路選択をすればよいのか。自分のことは知っているようで、知らないという人は意外に多いようです。本校では、アセスメントテストを行い、個の適性を生かせる進路先や志望校に合格する方法をきめ細やかにアドバイスしています。



質問コーナー

自学を進めていくと必ず「解き方がわからない問題」に出会います。そんなとき、担当教員に声をかけると質問コーナーで問題の解き方がわかるようになるまで親身になって教えてもらえます。質問コーナーは質問する生徒でいつも熱気に包まれています。



フィールドワーク 学びを深める在学中2回のフィールドワーク

2年生は3泊4日、5年生は4泊5日でフィールドワークを行います。いずれも、自分の探究テーマを解決するための活動です。県外へ飛び出し、現地で行う調査活動は自身の学びを広げたり深めたりするだけでなく、異文化を体験し異なる価値観を尊重しようとする市民性を養います。



2年生 沖縄フィールドワーク



5年生 隠岐島・関西フィールドワーク
(令和6年度は九州方面のフィールドワークです)



語学研修 国際性を育む2年間の語学研修

3年生、4年生を対象に、3日間の語学研修を行います。

イギリスのケンブリッジ大学、オックスフォード大学をはじめ世界の有名大学の学生と国内の難関大学に留学している学生を招き、3日間、英語だけを用いて、自己実現に向けた自身の取組や総合的な学習(探究)の時間で得た自身の考えについてディスカッションします。



土曜活用講座・講演会 キャリア形成に役立つ講座・講演

土曜活用講座では、大学や企業、行政、地域の方々が幅広いジャンルの講座を多数開設するので、自分の興味・関心に合わせて講座に参加することができます。知識を広げたり深めたりできるので、よりよい社会づくりのために自ら貢献していこうとする意欲が高まります。

この他にも、様々な講演会も実施されており、自分の生き方を考えるきっかけとなっています。



令和5年度の 講演会

進路講演会、キャリア啓発講演会、小論文講演会、外務省高校講座、G7記念授業
医師志望者・看護師志望者向け講演会、起業プラン講演会、サイエンスセミナー
人権教育・同和教育講演会、薬物乱用防止講演会、メンタルヘルス講演会

年間スケジュール

<p>4 APRIL</p>	<p>入学式 生徒会対面式 1年生野外活動 授業参観 PTA総会</p>	
<p>5 MAY</p>	<p>生徒総会 避難訓練 体育祭 中間考査(1～3年生)</p>	
<p>6 JUNE</p>	<p>中間考査(4～6年生) 生活集会 土曜活用講座①</p>	
<p>7 JULY</p>	<p>語学研修(3・4年生) サマーセミナーI(4～6年生) イングリッシュサマーセミナー(2年生) 東京研修(4年生) 県内大学訪問(3年生)</p>	
<p>8 AUGUST</p>	<p>土曜活用講座② サマーセミナーII(4～6年生)</p>	
<p>9 SEPTEMBER</p>	<p>期末考査(1～6年生) 土曜活用講座③ サイエンスサマーセミナー(3年生)</p>	
<p>10 OCTOBER</p>	<p>文化芸術発表会 避難訓練 人権教育、同和教育講演会</p>	
<p>11 NOVEMBER</p>	<p>フィールドワーク(5年生) 合唱発表会(1～3年生) 土曜活用講座④ 中間考査(1～6年生)</p>	
<p>12 DECEMBER</p>	<p>入学者選考検査</p>	
<p>1 JANUARY</p>	<p>生徒会役員選挙</p>	
<p>2 FEBRUARY</p>	<p>期末考査(1～5年生) 土曜活用講座⑤ フィールドワーク(2年生)</p>	
<p>3 MARCH</p>	<p>卒業式 総合探究発表会</p>	

部活動・同好会

部活動への加入は後期生になってから可能となります。

運動部

陸上競技部(男女)・硬式テニス部(男女)
バドミントン部(男女)・卓球部(男女)
サッカー部(男女)・バスケットボール部(男女)
女子バレーボール部・ダンス部

同好会

模型同好会
軽音同好会
英語ディベート同好会

文化部

吹奏楽部・理科部
美術部・家庭科部
書道部
将棋、囲碁、かるた部

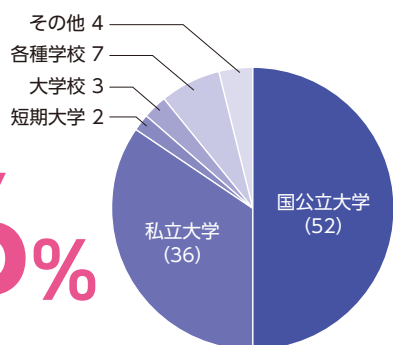


進学実績

多くの生徒が難関大学を目指して努力しています。

現役大学進学 令和5年度卒業生

84.6%



()内進学人数

これまでの卒業生の進学状況

〈難関大学〉

東京大学文科二類(1)・文科一類(2)・理科二類(1)
東京工業大学(3)、新潟大学医学部医学科(4)
秋田大学医学部医学科(1)、札幌医科大学(1)
北海道大学(5)、東北大学(16)、筑波大学(16)
大阪大学(2)、九州大学(2)、早稲田大学(4)
慶應義塾大学(5)

〈県内国公立大学〉

新潟大学(175)、上越教育大学(8)
長岡技術大学(9)、新潟県立大学(51)
新潟県立看護大学(12)、三条市立大学(4)

卒業生のコメント



6期生
木村 多果良
新潟県立
新潟高等学校 教諭

私は今、高校で英語の教員として働いています。高志中等に入学してから出会った英語の先生方に憧れて、この道を目指しました。夢を追いかける生徒を応援してくれる素敵な学校です。



8期生
霜越 奏瑠
新潟大学
医学部医学科3年

ヒトの体内では分子レベルでどのような反応が起きているか、医療人としてどのような姿勢を身につけていくべきかなど日々学んでいます。大変な時もありますが、高志中等で身につけた向上心や経験が今に生きていると実感しています。



9期生
高橋 知里
東北大学教育学部
教育学コース2年

高志中等での委員会活動をきっかけに、学校外での教育に興味を持ちました。先生方のサポートのもと、教員養成を主としない教育学部に進学し、ノンフォーマル教育を中心に、教育学を幅広く学んでいます。

学校制服 UNIFORM



BLAZER



くみ合わせ
自由



SAILOR BLAZER



SLACKS



自分らしい
着こなし!



SKIRT

※写真は冬服で夏服は別です

くつした

ハイソックスでも
短いのもOK!
※行事時指定あり



バッグ

バッグは自由!
リュックでも
スクールバックでもOK!



令和7年度 入学者選考検査について

〔出願受付期間〕 令和6年11月25日(月)～11月29日(金)

〔選考検査日〕 令和6年12月14日(土)

〔合格発表日〕 令和6年12月20日(金) ※変更となる場合があります。

〔募集定員〕 120名程度

オープンスクール

第1回 8月 7日(水)

第2回 8月16日(金)

受検相談会

第1回 9月14日(土)

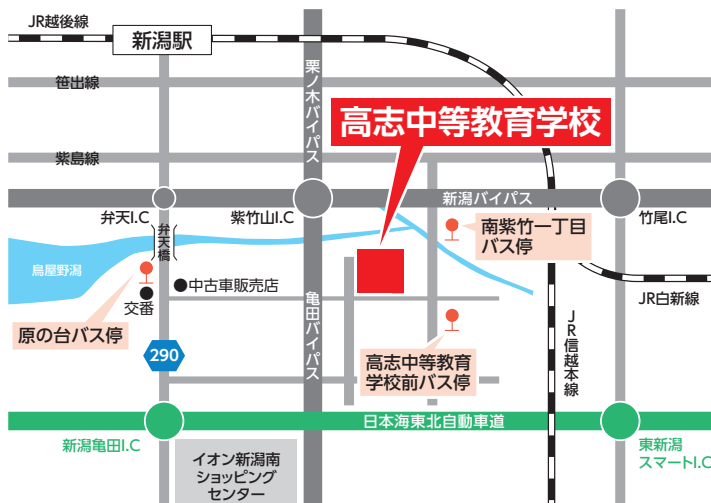
第2回 9月28日(土)

各種申し込みは学校のホームページよりお願いします。
<https://kohshichuto.city-niigata.ed.jp>

携帯・スマートフォンは
こちらから



アクセス ACCESS



新潟駅から2km

徒歩

新潟駅南口から約30分

バス

新潟駅南口から乗車
「原の台」下車徒歩7分

新潟市立

高志中等教育学校

〒950-0926 新潟市中央区高志1-15-1

TEL 025-286-9811 FAX 025-286-9812